

あおぞら

行方市 社協だより

No.38 2015.9.1

— 発行者 —
社会福祉法人
行方市社会福祉協議会

住所 茨城県行方市玉造甲403番地
☎ 0299 (36) 2020
FAX 0299 (55) 4545
URL <http://www.yokattanet.jp>



ビックリ・発見・夏キャンプ (詳細記事は P9)

P12

善意銀行・編集後記

P11

職員採用について

P10

赤い羽根共同募金

P9

トピックス

P8

社協のさーびす⑩

P6-7

福祉な声

P5

いきいき長寿者紹介

P2-4

平成26年度事業報告
平成26年度決算報告

目次

平成26年度事業報告

～安心して暮らせる福祉のまちづくり～を目指して
主に次のような事業を実施いたしました

会員数

- ・一般会員 8207世帯
- ・賛助会員 262世帯
- ・特別会員 132事業所

善意銀行運営事業

・市民の皆様の温かい善意の寄付金や物品をお預かりしています。寄付された金品は寄付者の意思に添った福祉事業等に使用させていただきます。

広報啓発活動

・社協だより「あおぞら」を発行しました。(6、9、12、3月)

相談事業

・弁護士による無料法律相談を実施しました。(毎月2回 相談件数90件)

高齢者福祉事業

●高齢者サロン事業

・高齢者が生涯健康で生きがいを持って社会活動できるよう健康・生きがい作りに関する事業及びリーダーの育成並びにひきこもり防止や交流事業を実施しました。

(2ヶ所 計23回 延べ287名参加)

●ふれあい広場事業

・健康体操やレクリエーションをとおし、高齢者の健康作りを目的として実施しました。(5ヶ所 計50回 延べ789名参加)

●いきいきゼミナール事業

・高齢者を対象に理学療法士や行方市シルバリーハビリ体操指導士会による指導で、いつまでも健やかに、いきいきと自分らしく毎日を過ごせるよう介護予防体操教室を実施しました。(2ヶ所 計46回 延べ405名参加)

●元気でくさくさびず館

・高齢者のひきこもり予防及び健康作りを通じた交流を目的として実施しました。(2ヶ所 計35回 延べ376名参加)

障害児(者)福祉活動事業

●ピククリ・発見・夏キャンプ

・協同生活を体験し、社会で暮らしていくための知識等を学ぶことを目的に実施しました。(参加者163名 協力 アール医療福祉専門学校)

●のびのびサポート事業

・長期休暇中の障害児のストレス軽減をはかるとともに、地域での生活の充実と交流を推進し、心身の発達と生活の豊かさを醸成することを目的として実施しました。(10回 延べ66名参加)

児童福祉事業

●子育てサポート事業

・子育てサポーター(子育てを支援する方)と利用者(子育て支援を必要とする方)の相互援助活動を実施しました。(保育サービス提供時間367.5時間)

母子・父子福祉事業

●ひとり親家庭新入学児童祝い品贈呈事業(15件)

●ひとり親家庭ふれあい遠足(10世帯参加)

ボランティア活動推進事業

●ボランティアセンター事業

・ボランティア活動を希望される方と必要としている方の調整等を行いました。(団体登録40団体 750名 個人登録127名 依頼件数33件 派遣延べ人数268名)

●手話教室の開催(3ヶ所 計101回)

●児童・生徒へのボランティア普及活動

・高齢者や障害者への正しい理解促進のために学校等での各種福祉体験学習を実施しました。(計1回 実施)

●運営委員会の開催

・各種ボランティア団体等への補助金の審査を行いました。

生活福祉資金貸付事業

(次城県社会福祉協議会より事務委託)

●低所得者や高齢者、障害者の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図る目的で実施しました。(相談件数25件)

福祉団体への支援

・老人クラブ連合会、ボランティア連絡協議会、身体障害者福祉協議会、遺族会等の事務局運営支援を行いました。

在宅福祉サービス・在宅生活支援事業

●福祉機器貸出事業

・疾病やケガ、障害者及び高齢者の方などで一時的に車いす等の福祉機器が必要となった方に貸出を行いました。(100件)

●福祉車両貸出事業

・障害者や高齢者及びその家族やボランティアの方に車いすごと乗り降りできる福祉車両の貸出を行いました。(128件)



いきいきゼミナール



元気〜さ〜びす館



給食サービス事業



共同募金運動

- 訪問歯科治療機器貸出事業
 - ・歯科医への訪問治療機器の貸出を行いました。(4件)
- 在宅福祉サービスセンター事業
 - ・高齢者や障害者(児)に対しボランティアの協力を得て、日常生活における援助等を実施しました。(利用件数 計2888件 利用時間 延べ4339.5時間)
- 在宅言語等リハビリアドバイス事業
 - ・病气やけがにより言葉によるコミュニケーション能力の低下した方に対して、能力回復を目的として言語聴覚士による訪問指導を実施しました。(18回 延べ63名)
- 軽度生活援助事業
 - ・在宅のひとり暮らし高齢者に対し、軽易な日常生活上の援助を

- 給食サービス事業
 - ・在宅の高齢者等で食事作りが困難な方に、栄養のバランスを考えた食事をご自宅にお届けするとともに、声かけや安否の確認をしました。
- 日常生活自立支援事業
 - (麻生地区 延べ1871食 協力：麻生地区給食ボランティア 北浦地区 延べ1571食 協力：ボランティアグループさわやか・北浦地区食生活改善推進員 玉造地区配食型 延べ2461食 協力：玉造地区給食ボランティア 玉造地区会食型及び配食型 計6回 協力：よもぎ会 ひだまり)

- 介護保険事業
 - ・自分ひとりで金銭の管理や支払い等が困難な方に対して、福祉サービスの利用援助、代行、利用料の支払いなどを実施しました。(相談件数4件 利用者数5名)
- 居宅介護支援事業
 - ・指定居宅介護支援事業所の運営を行い、介護支援専門員(ケアマネージャー)によるケアプランの作成、利用者のサービス提供相談、訪問助言指導、介護保険認定調査を実施しました。(プラン作成数 介護2142件 予防350件 介護保険認定調査133件)

- 障害福祉サービス事業
 - ・指定訪問介護事業所(総合支援法)の運営を行い、障害者(身体・知的・精神)への身体介護、生活支援サービスを実施しました。(利用者数延べ447名 派遣時間 延べ5179時間)
- 障害者移動支援事業
 - ・屋外での移動が困難な障害者等に対し、ホームヘルパーを派遣して外出のための移動を支援しました
- 指定訪問介護事業所の運営を行い、ホームヘルパーの派遣、サービス内容の相談を実施しました。(利用者数 延べ1428名 派遣時間 延べ16122時間)

た。(利用者数 延べ12名 派遣時間 延べ14時間30分)

●計画相談支援事業

・障害福祉サービス等の利用計画を作成し、その方にあつたサービスの提供を支援しました。(利用者数 53名)

●障害者地域活動支援センター事業

●就労継続支援B型事業

・障害のある方に対し、働く場所と創作活動の機会を提供し、知識・能力向上のための支援を実施しました。

(利用者数 計27名 月々金 9時30分～15時 作業内容 公園清掃、内職作業、生活訓練、創作活動等)

●こころのサロン

・精神疾患がある方を対象に、レクレーション等を通じて社会復帰の支援を実施しました。

相談事業

●在宅福祉相談

・医療機関及び福祉施設等を退院・退所後の在宅生活の相談支援を行いました。

共同募金事業

●赤い羽根共同募金運動

・10月1日より全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、行方市でも個別募金・学校等募金・イベント募金・設置募金・職域募金・

街頭募金を実施しました。(募金総額4586572円)

●歳末たすけあい運動

・市内全域において、高齢者世帯・障害者世帯の方々を対象に、シルバー人材センター等の皆様の協力を得て家事援助サービスを実施しました。(掃除1件 除草等34件 障子張り74件 網戸張替47件 窓掃除45件 廃棄処分14件)

新公共交通システム事業

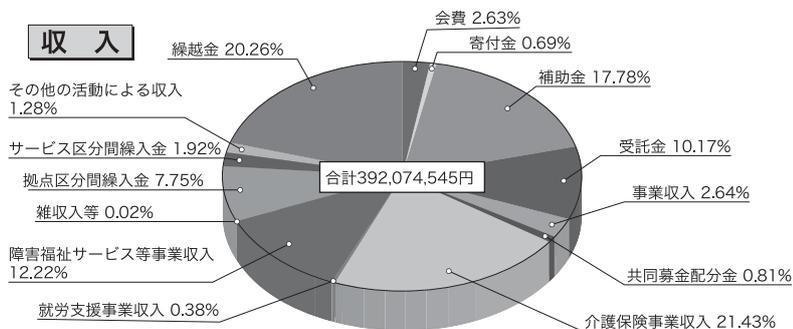
・利用者の予約により目的地まで乗合で送迎するタクシー(デマンド型乗合タクシー)の運行を実施しました。(利用者登録数3750名 利用者数 延べ17270名)



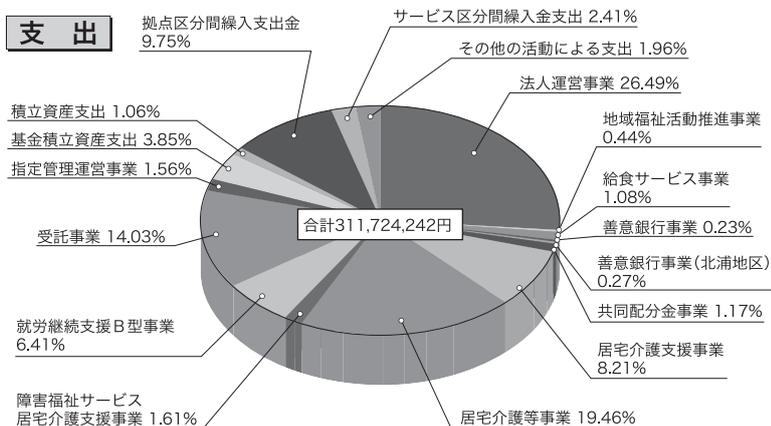
デマンド型乗合タクシー

平成26年度決算報告

収入



支出



(単位:円)

会費	10,323,000
寄付金	2,724,331
補助金	69,718,663
受託金	39,875,470
事業収入	10,359,550
共同募金配分金	3,170,407
介護保険事業収入	84,024,288
就労支援事業収入	1,507,831
障害福祉サービス等事業収入	47,924,850
雑収入等	62,478
拠点区分間繰入金	30,390,308
サービス区分間繰入金	7,527,000
その他の活動による収入	5,032,330
緑越金	79,434,039
合計	392,074,545
法人運営事業	82,570,488
地域福祉活動推進事業	1,362,150
給食サービス事業	3,354,179
善意銀行事業	717,452
善意銀行事業(北浦地区)	846,429
共同募金配分金事業	3,658,368
居宅介護支援事業	25,589,237
居宅介護等事業	60,658,922
障害福祉サービス居宅介護事業	5,026,240
就労継続支援B型事業	19,986,383
受託事業	43,737,336
指定管理運営事業	4,872,289
基金積立資産支出	12,014,220
積立資産支出	3,302,231
拠点区分間繰入金支出	30,390,308
サービス区分間繰入金支出	7,527,000
その他の活動による支出	6,111,010
合計	311,724,242

100きりきりきり長寿者紹介

たなわ
店曲みねさん 89歳（行方市次ホ）



梅雨が明け、日に日に暑さが厳しくなった7月下旬に取材に伺いました。

「本当に私でいいんですか。市内には私の先輩で、元気な方がたくさんいらっしやるのに。」と謙遜しながら、出迎えていただきました。私は、「是非店曲さんをお願いいたします。」とお答えすると、素敵な笑顔で取材に応じてくださいました。

店曲さんは玉造地区の井上で6人兄弟の5番目としてお生まれ



店曲みねさん

れになりました。19歳の時に終戦を迎えられたそうです。「井上の実家から霞ヶ浦上での空中戦を実際に見たんだよ。」若い男性が戦争に行ってしまう苦勞したもんだよ。苦勞してきたことが今の生活に繋がっているよ。「昔は大変だったことが、今は簡単にできるようになったことに感謝したいね。」と当時の生活をお話してくださいました。また、「私たちが経験した戦争のことを、若い人たちに語っていかなければいけないね。」と真剣な表情でお話しいただいたことが、とても印象的でした。そして終戦後間もなく現在の次木へ嫁がれたそうです。

日課について伺うと「バイクに乗って出かけることが日課になっているよ。」「バイクに乗っているときは爽快な気分になり、気持ち

がいいんだ。」とのこと。バイクに乗って、買い物や通院等に利用し、店曲さんの外出には欠かせないものになっています。今年の1月に免許の更新をされて、「平成30年の誕生日まで乗れるよ。」と喜んでいらっしゃいました。

詩吟が趣味で、月に3回通っているそうです。「48歳から始めたから、40年以上続けているよ。」と茨吟連県東地区協議会からの表彰状を見せていただきました。「詩吟に関しては、亡くなった主人も協力的で喜んでくれたんだよ。」「詩吟を通じて、年代性別を超えた沢山の友人ができました。」と嬉しそうにお話しいただきました。



茨吟連県東地区協議会からの表彰状

た。その他にも、地元老人クラブの活動にも参加し、副会長としてクラブの運営をサポートし、週2回クロッキーで汗を流しているそうです。

また、何でも挑戦したい性格とすることで、以前は水墨画に挑戦したり、婦人会や食生活改善推進員の活動にも積極的に参加していたと伺いました。

日頃から心がけていることを伺うと、「食生活改善推進員の活動を使っているかな。その他にも、起床時、家事の合間、風呂上りなどに、マッサージや体操をやっています。」とお答えいただきました。

最後に店曲さんは、「楽しく過ごして、一日一日を大切に、そして真剣に。」「前向きに明るくたのしくいかなないとね。」と、この日一番の笑顔でインタビューを終わりました。

これからもお体に留意され、ますますのご活躍をご期待申し上げます。

福祉な声

私たちの住む地域には、様々な福祉施設があります。
 今回はその中から、障がい者施設、行方市障害者地域活動支援センター（※1）・就労継続支援B型事業所（※2）「ドリームハウス」の職員の方にお話を伺いました。

～一日のながれ～

- 9:30 朝礼
- 9:50 作業活動
- 12:00 昼食・休憩
- 13:00 作業活動
- 14:30 片付け・清掃
- 15:00 退所

手工芸作品作りを担当しています。一人一人に合う、できることを見つけ、その方の可能性を伸ばす支援をさせていただいています。

利用者の方に対しての支援計画の作成と就労に向けた相談、希望や状況に合わせた作業内容の検討及び提示をしています。

仕事内容を教えてください

施設外活動やレクリエーションの運営を一緒に行い、日常生活を通して、社会で適切な対応ができるように支援しています。

電機部品組み立て作業を担当しています。作業工程の中での役割分担があり、作業がスムーズに進み、よりやりやすい方法で取り組めるよう支援しています。

ニーズに合わせた支援をしていくことで、個々のより良い完成型が生まれ、共有させていただけることです。

気持ちの純粋な人たちにやさしい心で接することができるところに魅力を感じます。

今まで出来なかった事にチャレンジして、出来るようになった時にとてもうれしいです。

やりがいや魅力は何ですか



作業の様子



創作活動の様子

何度も挑戦し、失敗もありますが、最後にできた時の達成感を利用者と共感できることです。そしてこの積み重ねで成長する姿を見れることがやりがいにつながります。

一番に考えることは、私も含めて、楽しく仕事をする事です。

「気付く」こと。些細な変化に気付けるように、コミュニケーションを普段からしっかりと取るようにしています。そして「プラス」の面に目を向けることです。

魅力的な場所となり、積極的に通所してもらえるようにすることです。

尊厳を傷つける事のないよう接することです。

普段から心がけていることはありますか

ホスピタリティーです。

その方の持つ力を引き出してどう活かすか。そして、働きたい、働くことが楽しいと思ってもらえるようにしていきたいです。その人の強みを活かせる場所を見つけ出したいです。

障がいのある方も、出来るだけ就労して、自立を目指してほしいです。そのためにも、幅広く受け入れてくれる企業や事業所が増えるといいと思います。

**障がいのある方の就労についてどう考えていますか
またどのようなことが必要だと思いますか**

行政や企業も、以前と比べると理解を示してくれていますが、まだまだ理解度は低いと思います。私たちも利用者の作業能力を高めるため、色々な作業をこなせるよう支援していきます。企業側も理解を深め、受け入れに協力していただきたいです。

成功・失敗の経験の一つ一つが、職員が考えている以上に、本人にとって大きいことなのではないかということです。中でも、成功の経験を積み重ねることが、本人のやる気・意欲の向上につながり、最終的には就職にもつながるのではと考えます。そのため、焦らずに積み重ねていくことが、大切だと考えています。

〒311-1383
茨城県行方市麻生2744-23
電話 0299-17210054
FAX 0299-18016662

**行方市障害者地域活動支援センター
「ドリームハウス」**

※2 就労継続支援B型事業とは、企業などで就労することが困難な障がい者に、雇用契約を結ばずに就労の機会を提供する就労継続支援事業。

※1 地域活動支援センターとは、障がい者に創作的活動・生産活動の機会を提供することにより、社会との交流を促進し、自立した生活を支援する施設。

「誌面に掲載した以外にも「大変と思っただことはないです。支援をさせていただいていますが、逆に皆さんから支援されているようで、感謝をしています。」「内職作業等のよい仕事があればご紹介よろしく願います。」「ドリームハウスへの見学・体験等お待ちしております。」「等たくさんのお話を伺いました。そして取材を通して職員の方の、利用者及び障がい福祉に対する思いを感じました。これからのますますのご活躍を期待申し上げます。お忙しい中、ありがとうございました。」



公園等の清掃業務

社協のせーびす⑩

介護のことはお気軽に！！

今度介護保険のサービスを利用したいと思っているんだけど、どこに相談すればいいのかな～？



介護保険ってなに？私もサービスを使えるのかな？

介護が必要になっても住みなれた自宅で生活を続けたい、そんな思いをお手伝いします、まずはご相談ください

ケアマネージャーってどんな仕事をする人??

ケアマネージャー（介護支援専門員）は介護の知識を幅広くもった専門家で、介護を必要とする方に介護保険サービスをつなぐ役割を担っています。

介護保険サービスの利用にあたり次のような役割を担っています。

- 利用者や家族の相談に応じアドバイスをします
- サービス事業者との連絡や調整をします
- 利用者の希望に沿ったケアプランを作成します
- 施設入所を希望する人に適切な施設を紹介します



介護の事についてお悩みがあればお気軽にご相談ください

介護保険法に定める介護サービスを利用するにあたって介護支援専門員が、利用者やその家族等の希望や状況に応じて「居宅サービス計画」「介護予防サービス計画」を作成し、適切なサービスが提供されるよう関係機関との連絡調整を行います。

サービスを利用できる方

- 65歳以上の方で「要支援1・2」「要介護1～5」の認定を受けている方
- 40～64歳の方で特定疾病が原因で「要支援1・2」「要介護1～5」の認定を受けている方

利 用 料 金

介護保険制度により全額給付されるので利用者の自己負担はありません

お問合せ 在宅福祉係 ☎ 0299(36)2020 FAX 0299(55)4545

第13回ビックリ・発見・夏キャンプを開催 ～夏の思い出のページのひとつに…～

毎年恒例のビックリ・発見・夏キャンプが、8月5日（水）から6日（木）にかけて白浜少年自然の家において開催されました。この事業は、障がいのある方を対象とし、自立・交流・体験の機会拡大を通じて社会性や協調性を育むことを目的としています。

当日は、160名の方にご参加いただき、真夏の日差しの下、レクリエーションや交流会を中心としたプログラムを行いました。

また、開催にあたっては土浦市所在のアール医療福祉専門学校の学生の皆さんにご協力をいただきました。



様々なレクリエーションを楽しみました

みんな元気に のびのびサポート事業

夏休み期間中、玉造保健センターにおいて、ボランティア及び学生のみなさんの協力を得て、延べ10日間ののびのびサポート事業を開催しました。この事業は障がい児のレスパイト（日常的なケアの負担軽減）を目的と実施しており、今年度で7年目を迎えました。今回も多くの方々にご参加をいただきました。



音楽に合わせてリズムをとります



楽しく過ごしました

ボランティア連絡協議会からのお知らせ

行方ふれあいまつりが、平成27年10月31日（土）11月1日（日）に開催されます。その中で連絡協議会として、バザーを出店いたします。（昨年度は玉造地区のみの参加でした）大勢のみなさまのご来場をお待ちしております。

また、行方市ボランティア連絡協議会では会員を募集しています。現在ボランティア活動を行っているグループや個人の方、これからボランティアを始めようとしている方等、研修会や交流等を通して私たちと活動してみませんか。興味のある方は、下記までお問合せください。

お問合せ 地域福祉係 ☎0299-36-2020

赤い羽根共同募金 がはじまります！

 **運動期間 10月1日から12月31日**

みなさまのご協力をよろしくお願いいたします。

今年も10月1日から、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が始まります。

皆様からお寄せいただいた募金は、皆様が住んでいる行方市の様々な地域福祉活動に役立てられています。

行方市では、赤い羽根共同募金運動と歳末たすけあい運動を一斉に実施しています。



赤い羽根共同募金の使われ方

- 高齢者福祉のために
- 障がい者福祉のために
- 母子・父子福祉のために
- ボランティア活動のために
- 地域福祉のために



歳末たすけあい募金の使われ方

- 新たな年を迎える時期に支援を必要とされる方々へ家事援助等のサービスに活用されます。



昨年度の歳末たすけあい運動の様子▶



＜お問い合わせ先＞
茨城県共同募金会 行方市支会
〒311-3512 茨城県行方市玉造甲 403
社会福祉法人行方市社会福祉協議会内
電話 0299 (36) 2020

行方市社会福祉協議会職員採用試験

平成27年度行方市社会福祉協議会職員採用試験を次のとおり行いますのでお知らせします。

1. 採用人員及び採用日

- (1) 採用人員 事務職（正規職員） 若干名
- (2) 採用日 平成28年4月1日（予定）

2. 職務内容

- (1) 一般事務及び福祉事業に関する業務全般

3. 資格要件

- (1) 高卒以上の学歴を有し、昭和59年4月2日以降に生まれた方
- (2) パソコンの基本操作ができる方
- (3) 社会福祉法第19条の社会福祉主事を有する方（平成28年3月31日までに取得見込みの方を含む）
- (4) 普通自動車運転免許を所持する方（平成28年3月31日までに取得見込みの方を含む）

4. 欠格条項

- (1) 日本に国籍を有しない人
- (2) 成年被後見人及び被保佐人
- (3) 禁固以上の刑に処せられ、その執行を終わるまで又はその執行を受けることがなくなるまでの人
- (4) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した人

5. 試験内容

- (1) 一次試験 （一般教養試験、小論文）
- (2) 二次試験 （面接、適性試験）※二次試験は一次試験合格者のみ

6. 試験日

- (1) 一次試験 平成27年10月18日（日）
 - (2) 二次試験 平成27年11月中旬
- ※詳細は、後日、受験者に連絡いたします。

7. 受験手続・受付期間

- (1) 申込方法
申込者は、履歴書に自筆で必要事項を記入し、関係書類を添付の上、直接持参するか、申込先へ郵送して下さい。

(2) 提出書類

- ア 自筆履歴書 1部（写真貼付）
- イ 受験票用写真 1枚
- ウ 学歴及び資格等が分かる証明書（写し可）
- エ 受験料は無料です

※履歴書及び受験票用の写真は、提出日3ヶ月以内に撮影した上半身脱帽正面の写真
（サイズ 縦4cm 横3cm）

※卒業及び資格取得見込みで受験する人は、卒業及び資格取得後、証明書等を提出して下さい。

(3) 受付期間

平成27年8月3日（月）～平成27年9月18日（金）

受付時間：月曜日～金曜日 ※8:30～17:15 土、日を除く

郵送の場合：平成27年9月18日（金） ※消印有効

(4) 受験申込先・問い合わせ

社会福祉法人 行方市社会福祉協議会（職員採用試験担当）

〒311-3512 茨城県行方市玉造甲403番地 電話 0299-36-2020 F A X 0299-55-4545

皆様からの寄付金・預託金 (順不同・敬称略)



一二三会



館野泉ピアノリサイタル開催委員会



麻生創生会



麻生小学校児童会

寄付金

預託者名	金額(円)	指定先
一二三会 会長 阿部剛	39,538	無指定
本 澤 治 一	20,000	北浦
成 田 拓 也	10,000	北浦
高 正 茂 明	10,000	北浦
阿 須 間 利 明	30,000	北浦
大 里 仁 一	20,000	北浦
稲 田 孝 行	10,000	無指定
大 久 保 章 雄	20,000	北浦
麻 生 創 生 会	50,000	無指定
寺 坂 博	20,000	北浦
茂 木 明 男	10,000	北浦
館野泉ピアノリサイタル 開 催 委 員 会	142,000	無指定
鹿行地域労働者福祉協議会 会 長 篠 塚 和 弘	12,000	無指定
鈴 木 操	20,000	北浦
六 笠 勝 己	20,000	北浦
なめがた地域総合病院 看 護 部 看 護 師 会	17,570	無指定
斉 藤 剛	20,000	北浦
岡 崎 正 良	10,000	北浦
宇 津 木 守	10,000	北浦
茂 木 通 夫	20,000	無指定
麻 生 小 学 校 児 童 会	10,000	無指定
鉾田理容組合玉造支部	10,000	無指定
宮 本 芳 枝	10,000	北浦
羽 生 雅 彦	20,000	無指定
行方市立玉造幼稚園	13,075	無指定

広報委員

委員長 大軒 光江	委員 高橋さち子
副委員長 代々城千尋	新堀 文江
委員 大久保 守	横田 照実
菅谷 京子	石橋 展子
磯山 正子	渋谷 節夫

行方市善意銀行

平成27年5月1日から平成27年7月31日までに善意をおよせいただいた方々をご紹介いたします。皆様からの善意は行方市のさまざまな福祉活動に使わせていただいております。

ご指定いただいた寄付につきましては、指定の事業に使わせていただきます。皆様からの温かいご寄付に心より感謝申し上げます。

物品寄付

預託者名	預託品	指定先
菅澤トヨ	梅干し	北浦地区給食サービス
行方生活学校	牛乳パック	障害者地域活動支援センター
株式会社ヤマザキ	拡声器 ワイヤレスマイク	無指定
成田博義	米30kg	北浦地区給食サービス
城山文男	チャイルドシート フットパブ	無指定
匿名	タオル181本	障害者地域活動支援センター



株式会社ヤマザキ

我が家には、猫15匹、犬2匹が共に生活しています。

猫15匹は、すべて捨て猫で、孫達が学校から拾ってきたり、散歩中に霞ヶ浦で拾ってきたり、先日は中学生が1匹の猫を育てて欲しいと懐に入れて自転車で連れてきました。

これらの猫達が、身体を寄せ合って穏やかな寝顔で日々健やかに過ごしている姿に……自分の老後を重ねてみたりして……

「成せば成る、成さねば成らぬ何事も……」と強気で過ごしてきた私も66歳になってしまいました。

これからは、皆と寄り添って猫のように？心穏やかに過ごしたいと願いつつ、出来ることからボランティアにも参加したいと思っています。

さあ今日は、初の給食ボランティアに行ってみようね。

編集委員 新堀文江

編集後記